

授業科目 倫理学			科目コード番号																																																													
【担当教員名】 渡辺信也	対象学年	1	対象学科	全学科																																																												
	開講時期	後期	必修・選択	選択																																																												
	単位数	2	時間数	30																																																												
【概要及び学習目標】																																																																
<p>&lt;概略&gt;</p> <p>今日、科学技術の高度化に伴い、「生命」や「環境」が倫理学の問題となる一方、やはり科学技術の進展がグローバル化の進行を促進し、異なった価値観を持つ人間同士の「共生」という新たな倫理的課題を生んだ。そのため旧来の倫理概念は全面的な再検討や拡張を迫られる状況に至り、「生命」や「自由」や「人権」等の意味が根本から問い直されている。本講義では、今日の倫理概念の基底を形成した西洋近代思想における倫理概念の意義と限界を検証すると共に、東洋思想の再評価を踏まえつつ、現代の倫理的問題の諸相を、特に環境倫理を中心に概観し、生命を含む広義の環境を守り他者との共生を可能とするべく、人間存在の布置に対する新たな理解に基づいて21世紀の倫理学を構築していくための原則を見出すとするものである。</p> <p>&lt;学習目標&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代の倫理的課題の諸相に対する知識を得る。</li> <li>2. 従来の倫理概念の意義と限界を理解・評価できる。</li> <li>3. 今世紀に求められる倫理的原則を理解し、この実践に主体的に取り組む姿勢を持つ。</li> </ol>																																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>学習の主題</th> <th>学習内容</th> <th>学習方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>現代倫理学入門</td> <td>今「倫理学」とは何を謂うのか、環境倫理学や生命倫理学等、今日の倫理学の抱える問題を概観する。</td> <td>講義</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>自由主義の問題</td> <td>近代社会の基本理念であった自由主義の意義と限界を検証する。</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>世代間倫理の問題</td> <td>環境破壊の問題に関して、次世代の権利と彼らに対する責任を考える。</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>配分における正義の問題</td> <td>有限な資源や医療福祉サービスなどをいかに公正に配分すべきか、その倫理的原則を考察する。</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>企業倫理の問題</td> <td>利潤追求を目標とする企業活動に倫理を求めることがいかに可能であるのかを検討する。</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>自然哲学の問題</td> <td>西洋近代科学の裏面にあった、生命や自然との共生を説く哲学の意義を再評価すると共に、東洋思想との関連について考察する。</td> <td>同上（ビデオ視聴を含む）</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>環境世界の哲学</td> <td>20世紀の環境思想の先駆的な役割を果たした思想家を取り上げ、人間が環境世界と関わることの意味、及び科学技術に対処する方策を探る。</td> <td>同上（ビデオ視聴を含む）</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>多様な文化との共生の問題</td> <td>政治・経済・文化等の相違を承認かつ尊重しつつ、平和な共存を可能とする倫理的原則とは何かを考察する。</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(都合により講義の順番は変更することがある。)</p>					回数	学習の主題	学習内容	学習方法	1	現代倫理学入門	今「倫理学」とは何を謂うのか、環境倫理学や生命倫理学等、今日の倫理学の抱える問題を概観する。	講義	2				3	自由主義の問題	近代社会の基本理念であった自由主義の意義と限界を検証する。	同上	4	世代間倫理の問題	環境破壊の問題に関して、次世代の権利と彼らに対する責任を考える。	同上	5	配分における正義の問題	有限な資源や医療福祉サービスなどをいかに公正に配分すべきか、その倫理的原則を考察する。	同上	6				7	企業倫理の問題	利潤追求を目標とする企業活動に倫理を求めることがいかに可能であるのかを検討する。	同上	8				9				10	自然哲学の問題	西洋近代科学の裏面にあった、生命や自然との共生を説く哲学の意義を再評価すると共に、東洋思想との関連について考察する。	同上（ビデオ視聴を含む）	11				12	環境世界の哲学	20世紀の環境思想の先駆的な役割を果たした思想家を取り上げ、人間が環境世界と関わることの意味、及び科学技術に対処する方策を探る。	同上（ビデオ視聴を含む）	13	多様な文化との共生の問題	政治・経済・文化等の相違を承認かつ尊重しつつ、平和な共存を可能とする倫理的原則とは何かを考察する。	同上	14			
回数	学習の主題	学習内容	学習方法																																																													
1	現代倫理学入門	今「倫理学」とは何を謂うのか、環境倫理学や生命倫理学等、今日の倫理学の抱える問題を概観する。	講義																																																													
2																																																																
3	自由主義の問題	近代社会の基本理念であった自由主義の意義と限界を検証する。	同上																																																													
4	世代間倫理の問題	環境破壊の問題に関して、次世代の権利と彼らに対する責任を考える。	同上																																																													
5	配分における正義の問題	有限な資源や医療福祉サービスなどをいかに公正に配分すべきか、その倫理的原則を考察する。	同上																																																													
6																																																																
7	企業倫理の問題	利潤追求を目標とする企業活動に倫理を求めることがいかに可能であるのかを検討する。	同上																																																													
8																																																																
9																																																																
10	自然哲学の問題	西洋近代科学の裏面にあった、生命や自然との共生を説く哲学の意義を再評価すると共に、東洋思想との関連について考察する。	同上（ビデオ視聴を含む）																																																													
11																																																																
12	環境世界の哲学	20世紀の環境思想の先駆的な役割を果たした思想家を取り上げ、人間が環境世界と関わることの意味、及び科学技術に対処する方策を探る。	同上（ビデオ視聴を含む）																																																													
13	多様な文化との共生の問題	政治・経済・文化等の相違を承認かつ尊重しつつ、平和な共存を可能とする倫理的原則とは何かを考察する。	同上																																																													
14																																																																
【評価方法】 出席・レポート・期末試験																																																																
【履修上の留意点】 平素の授業態度を重視する。積極的に質問をすることが望ましい。 テキストを単に暗記するのではなく、提示された課題を主体的に検討する姿勢が必要。																																																																

## 【使用図書】

教科書・参考書等	書名等	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	共生のリテラシー —環境の哲学と倫理—	加藤尚武編	東北大学出版会	2001年 1500円(税別)
参考書	講義中に指示する。			
その他 (プリント等)				